

アルコール検知器をお使いのお客様へ

重要なお願い

検知器使用者が新型コロナウイルス感染と判明したら？

新型コロナウイルス感染者がアルコール検知器を使用していたことが判明した場合(*1)、以下の措置で対応させていただきます。感染性廃棄物の輸送方法に準ずるかたちで梱包・輸送させていただきます。

<概略>

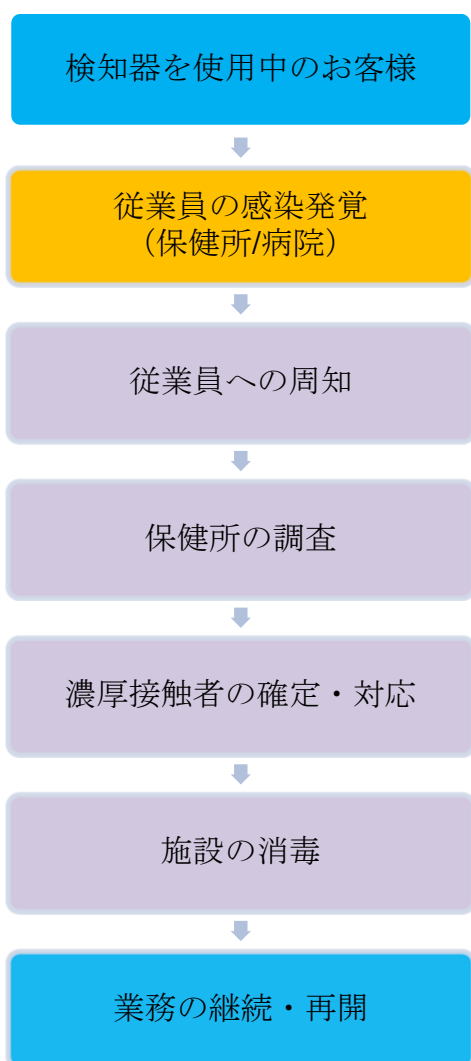
- 手順1) お客様からサポートコールセンターへ**該当機種(*2)**のご連絡
- 手順2) 当社からお客様の該当営業所へ、返送専用の梱包箱および代替品を発送
します。
- 手順3) 手袋をした上で、お客様にて、次ページにある手順にて梱包し

必ず同封された伝票をつかって返送ください (*3)

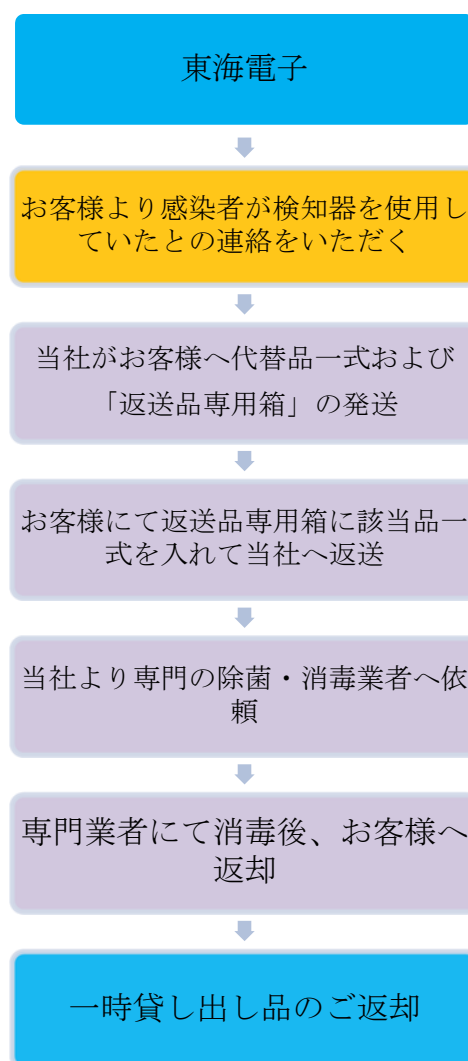
- *1 呼気測定しない方の感染の場合はこの手続きに該当しません。
- *2 機種によって専用の箱の大きさが違います。
- *3 当社では、通常の使用済みセンサーの返送と感染者が出た場合のセンサーの受取部門を分けています。通常のセンサー返却とは別の「製品統括部 安全衛生係」宛となりますので必ずご一報ください。

東海電子株式会社

<お客様側の一般的なフロー>



<当社の対応フロー>



■感染者発生時の物品交換費用について

ALC-PRO II、ALC-MiniIV (※)、ALC-Mobile II、ALC-zero、デジタコ接続型等、保守校正契約を締結しているお客様は、下記契約条項に基づき対応致します。本体部分は消毒後返却し、センサー部分は未使用の校正品を新たにお送りいたします。

※ALC-miniIVについて保守校正契約は任意（選択）です。契約内容をご確認ください。

『第6条 保守校正メンテナンス』

④故障・損傷発生時、甲から対象品の発送を受け行う故障修理。修理部品代、作業費用は本契約に含まれる。但し、甲が乙に対象品を発送する場合は、予め故障内容を乙のサービス受付窓口に連絡した後、乙が指定する宛先に梱包し発送する。また、乙は受付窓口に連絡を受けた時点で甲に対象品の代替機を送付し、甲は修理期間中、送付された代替機にて対応する』

ALC-miniIIIを使用のお客様および ALC-MiniIV保守契約を締結していないお客様は、①代替品貸し出し②消毒後の返却 ③校正済み新センサー送付 一連の手続きを 9,000 円（税抜）にて申し受けます。

アルコール検知器使用者で感染者が発生した場合の物品輸送について

■内容物（設置型の場合）

名称・数量	用途
本書	梱包の手順書になります
製品梱包箱×2	ハンディユニットと製品本体の各々梱包用となります
450ビニール袋×2	梱包箱の密閉用となります
送り状(着払い・住所宛名記載済み)	弊社への発送用となります

■梱包手順 ※お客様にてアルコール検知器をすでに密閉されている場合は、450ビニール袋を2重にしてさらに密閉をお願い致します。梱包は「手順5」よりお願い致します。

1. ハンディユニット部を製品梱包箱に入れる。 2. 製品梱包箱を梱包テープで「H 貼り」で密閉する。



3. 製品梱包箱を、450ビニール袋で密閉する。 4. 製品本体を「手順1～3」と同様に密閉梱包する。



←固く縛る



緩衝材を入れて下さい。

5. 「手順3」と「手順4」の製品梱包箱を、発送されてきた箱に入れる。 6. 外箱を梱包テープで「H 貼り」で密閉し、内容物の「送り状」を貼り付ける。



■内容物（遠隔地型の場合）

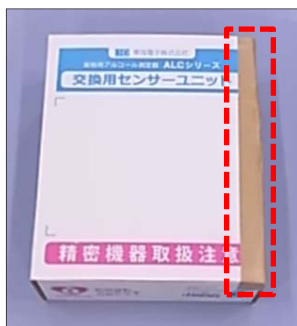
名称	用途
本書	梱包の手順書になります
製品梱包箱(校正用)	ハンディユニットの梱包用となります
チャック付きビニール袋(4I サイズ)	ハンディユニットの密閉用となります
450ビニール袋×2	梱包箱の密閉用となります（1枚は予備）
送り状(着払い・住所宛名記載済み)	弊社への発送用となります

■梱包手順 ※お客様にてアルコール検知器をすでに密閉されている場合には、450ビニール袋を2重にしてさらに密閉をお願い致します。梱包は「手順5」よりお願い致します。

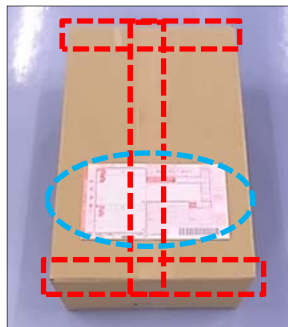
1. ハンディユニットをチャック付袋に入れる。 2. 製品梱包箱に「手順1」を入れる。



3. 製品梱包箱を梱包テープで貼り付ける。 4. 製品梱包箱を、450ビニール袋で密閉する。



5. 「手順4」の製品梱包箱を、発送されてきた外箱に入れる。 6. 外箱を梱包テープで「H貼り」で密閉し、内容物の「送り状」を貼り付ける。



【 アルコール検知器利用状況と新型コロナウイルス感染者の発生状況 】

以下、引き取り後の消毒作業実施にあたり、今後の参考のためご記入を宜しくお願い致します。

- 1) 業種 (バス タクシー トラック 他 業)
- 2) 営業所名 ()
- 3) 測定人数 (人)
- 4) 該当者職種 (ドライバー 事務職・管理者)
- 5) 発病日 (月 日)
- 6) 測定器使用停止日 (月 日)
- 7) PCR検査日 (月 日)
- 8) PCR結果確認日 (月 日)
- 9) 濃厚接触者有無 (有り 無し)
- 10) 2次感染者有無 (有り 無し)
- 11) 検知器除菌・消毒 (一日一回 毎回 その他 回)
- 12) 除菌・消毒の方法 (アルコール 次亜塩素酸 その他方法)
- 13) 吹き込み方 (専用マウスピース ストロー使い捨て)
- 14) 対面点呼の距離 (約 メートル)

■黒字部分：2，5，6，7，8 物品受領にあたって必要な情報

■赤字部分：1，3，4，9，10，11，12，13，14今後の参考のために任意でご提供して
いただきたい内容

お客様へのお願い

現在、多人数・共用型の設置型のアルコール検知器が、新型コロナウイルスを拡大させていると言われることが多く対応に苦慮しております。事実なのか・事実でないのか、科学的にかつ疫学観点で証明することが不可能な状態です。

今後の運輸業界への参考のために、**特に赤字部分につきまして**、情報提供をお願いしたく存じます。社名や地域を完全に匿名化した上で、除菌や消毒がどれくらい有効なのか、どのような吹き込み方が適切なのか、どのような点呼体制であったのか等情報を収集・分析し、業界へ向けて、感染症予防のため適切なアルコール検知器の運用・情報発信（ウェブサイトでの公表）ができれば幸いです。

何卒、ご協力のほどお願い申し上げます。

2020.05.01